

広大から海外へ留学している若手からの便り

米国メイヨークリニック留学便り

大上 博史 医歯薬保健学研究科 医歯薬学専攻
歯学講座 先端歯科補綴学 助教

私は現在、米国フロリダ州ジャクソンビルにあるメイヨークリニックのDr. Takahisa Kanekiyo ラボでResearch Fellow として留学しています。メイヨークリニックはミネソタ州ロチェスターに本部を置く米国屈指の総合病院で、フロリダ州のほかアリゾナ州にも支部を置いています。

私は口腔と脳の関連について興味を持ち、現在Neuroscience部門でアルツハイマー病の研究に従事しています。ジャクソンビルには研究部門がNeuroscienceとCancerしかないためロチェスターに比べると規模は小さいですが、共有設備が充実していることや、共同研究がラボ間だけでなく臨床部門とも盛んであるなど横のつながりが強い印象です。生活面に関しては、治安は比較的良く家族連れでも快適に過ごせており、イースターやハロウィンなど米国ならではのイベントに家族で参加した経験はいい思い出になっています。

最後になりましたが、留学の機会を与えていただきました当講座教授の津賀一弘先生をはじめ、医局および関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



Neuroscience 部門の建物

編集後記

キャンパス内のハナミズキやモミジバフウの緑が目まぶしく、心若やく季節となりました。BHS News 第13号を発刊するにあたり、ご協力いただいた執筆者ならびに広報委員の皆様にご心から感謝いたします。トップダウンによる大学改革が急速に進められる中、広島大学の研究・教育環境は、善かれ悪しかれ日々大きく変化しつつあります。その改革についていけない教職員は、社会的貢献度に応じた厳しい数的評価を受ける時代になりました。大段秀樹 新研究科長が執筆された「巻頭言」には、次世代の霞キャンパスのあり方が示されています。教職員の一人として、改めて身の引き締まる思いがします。

至らないところもありましたが、無事に編集を終えることができました。霞キャンパスの情報提供や異分野交流の場として、今後も BHS News をご利用いただくと幸いです。自然災害や放射線被害のない平和で穏やかな時の中で、有意義な教育・研究生活を送れることを心から願っています。

2018年5月 広報委員 小池 透

2018年（平成30年）5月発行

編集発行 広島大学大学院医歯薬保健学研究科広報委員会

住所 〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号

電話 (082) 257-5013（霞地区運営支援部総務グループ）

E-mail kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

URL <https://www.hiroshima-u.ac.jp/bhs>